

事業所名 ココトモワークスジュニア 犬山今井校

支援プログラム (参考様式)

作成日 2024年 12月 1日

法人(事業所)理念		誰ひとり取り残さない居場所を創る						
支援方針		1. 位置づけ 2. 価値づけ 3. 方向づけ						
営業時間		10時	00分	19時	00分	送迎実施の有無	あり	なし
		支援内容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時退所時の体温測定や顔色チェックにより、健康状態を確認する ・睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援する長期休暇時にリズムが崩れないよう家庭支援も行う ・個々の子どもに適した身体的、精神的、社会的訓練を行う ・生活に必要な基本的技能(食事・着脱・排泄)を獲得し自分自身が気持ちよく生活できるよう、段階に合わせた支援をする(こぼさずに食べられる/汚れたら着替える/排せつ後一人でトイレトペーパーが使えるなど) ・さまざまな遊びや活動を通して基本的な生活スキルの習得ができるよう環境を整える(清掃活動、SST活動、調理活動など) 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った運動療育を通して関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る(運動遊び/野外活動/リズム遊び/水遊び/ボール遊びなど) ・個々の子どもの保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を把握し、遊びや活動等を通して支援する(感覚遊び/野外活動) ・感覚や認知の特性(感覚過敏等)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援(静養室やイヤーマフの活用)を行う ・正しい姿勢の保持ができるよう支援する(声掛け、椅子や机の調整、環境整備など) 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・活動前に、日付を確認し、数の概念の習得を図る ・カレンダー作り等の活動を毎月繰り返し行うことで、日付・曜日感覚を養う ・時間と行動内容の掲示、事前の声掛けにより、時間と行動への意識付けを図り、計画的に行動する事ができる(約束を守ろうとするなど) ・数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得を意識した自由遊びの展開を行う(ブロック、カード遊びなど) ・個々の認知の特性を踏まえ、こだわりや偏食等に対する把握、支援を行う ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・当番活動、活動中の質疑応答、帰りの会の感想発表等を通して、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う ・個々の特性に合わせて、絵カードやジェスチャー(指差し、身振り、サイン等)を用いたやり取り、話す速度の加減により、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う ・個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う ・カルタ、しりとりなどの活動や個別活動でのプリント学習を通して、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する ・集団活動や支援者が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊び等を通して、徐々に社会性の発達を支援する ・支援者を介して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する ・集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する 						
家族支援		家族からの相談に対する適切な助言を行います ・子供に関する情報の提供と定期的な支援調整 ・相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整		移行支援		移行先への支援と支援体制の構築を目指すため、移行先への援助方針や支援内容等の共有、子どもの情報、保護者の意向等についての移行先への伝達、および以降利用の場合は受け入れ態勢づくりの協力を努めます		
地域支援・地域連携		・教育関係の関係者等との連携 ・個別のケース検討のための会議への出席		職員の質の向上		・定期的な療育会議 ・職員の各種委員会及び研修会		
主な行事等		・初詣 ・おやつ作り ・季節の制作 ・職業体験 ・農業体験						